

西宮市長 様

要望書 (案)

以下は、今から 23 年前の阪神淡路大震災に端を発して、仮設住宅付近で共生し始めた猫の世話をして来たボランティアグループと有志の西宮市民によるものです。

西宮浜総合公園予定地付近にいる飼い主のいない猫の対応について、現在、西宮市公園緑地課より「野良猫の個体数減少を目的とした給餌並びに避妊手術のための捕獲（市が指定した区域の捕獲用ハウスの設置を含む。）」に関し、許可をいただいています。

この件について、下記のとおり要望いたします。

- 猫の居場所、保護場所を確保して、劣悪でない環境を引続き維持していただくこと。
(ボランティア任せにせず、市ぐるみで見守っていくこと。)
- よって、万一 現在の保護場所を立ち退きとなった場合は、市側がその期日までに移転先を確保していただくこと。
- 猫の里親斡旋について積極的に協力し、頭数が限りなくゼロに近づくまで、上記のことを継続していただくこと。

市と、市民、ボランティアが一丸となって、人も動物も植物も、共に住み心地のよい西宮市となりますよう、ご配慮賜りたくよろしく願いいたします。

平成 30 年 3 月 日

注意点

- 要望書ですから、何を要望するのかがはっきり判るものでなければなりません。
とってあまり細かいことを書きすぎても却って混乱をきたします。
わかりやすい言葉で簡潔にというのが要望書に求められる要点です。
用語の使い方もこういう問題点があるのでこうして頂きたいということを要領よく書くことが大切です。
- 市に提出する要望書というのは、一つの事柄に対して一度だけしか出せません。
個人の手紙のやり取りとは違うのでこの点をしっかりと見極めておくことが大切です。
急ぐあまり、長が一人の判断でいきなり市長に提出しても効果はありません。
会内での話し合いはもちろん、市の担当職員を交えて、現場を見ながら、どう進めたら最も効果的かを見極めることが大切です。
- 市に提出する要望書の書き方のポイントは、テーマが何であろうと、立場がなんであろうと、要望事項を聞き入れてもらい、実現させることにあります。ここではあまり丁寧な挨拶文は必要ありません。
強く要望するだけの理由が一行で書かれていることが大切です。
要望書の中に市議員を含めるかどうかは要望事項にもよりますが、なるべく政治問題化しないような配慮が必要。